

## 2017年 教職大学院体験授業まとめ

### 開催概要

日時	7月8日(土) 13:30~16:30
場所	愛知教育大学 教育未来館2A講義室
対象	基礎領域<学部直進・社会人>, 応用領域
参加者	14名(学部生9名《うち学外者7名》, 社会人5名)
内容	13:40 - 体験授業 子どもを見る二つの目 中山 弘之(学級づくり履修モデル准教授) 14:30 - 大学院説明 15:00 - 入試説明, 履修相談カウンセリング

### <体験授業風景>



## アンケート回答

### ◆ 体験した授業で印象に残ったことや学んだこと、感想などをご自由にお書き下さい。

- ・ 現在、学校現場では、本当に多様な子がいると感じています。家庭のあり方や、個々人がもっている価値観や特性も様々です。C男くんのような子は実際にいます。自己肯定感がひくく、今まで、おこられたことが多くひらきなおっているような子。そのような子に適切な支援、指導ができれば、発達を促すことができると改めて学ばせて頂きました。勇気がわいてきます。「共感の目」でその子の立場にたって気持ちやなぜそのような行動をするのか考え、「評価の目」で人間として大切な力が身につけているか冷静に判断していきたいと思いました。貴重なお話、ありがとうございました。
- ・ 「共感の目」と「評価の目」という子どもを見る二つの「目」について学んだ。実際に教員として生徒と接していると、ここでいう「評価の目」の一方で見がちである。今日学んだことを念頭におき、なぜそうしたんだろう？とちょっと立ち止まって指導にあたることを心がけたい。
- ・ 子どもを見るときは、「共感の目」と「評価の目」の二つの「目」が大切だと分かりました。他の人の考え方を聴くことができ、自分の考えをより深めることができよかったです。
- ・ 今大学で学んでいる授業の行い方や進め方とは違い、児童をどう見るか、良い教師とはどのようなものかといったことを学べるのはとても興味を持った。ただ漠然と教師になるための授業を行うのではなく、どのような教師になりたいかというのを目的を持って学ぶことができると感じた。
- ・ 先生が講義をするだけでなく、我々が考え、発表し合う時間があり、今、教育現場で求められている授業形式であると感じました。また、実際の話、経験談を元に考える時間があるため、大変勉強になりました。教師として学級経営をする前に、大学院で、これらのことを学び、話し合えることは、ありがたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 「共感の目」と「評価の目」どちらも持って指導にあたっていくことが重要だということを知りました。その際にどちらかが強すぎてもいけないのが難しいと思いました。私自身もボランティアや教育実習を通して、生徒が何か問題行動があった時に、どちらかといえば「共感の目」が強かったかと思いました。生徒を成長させるためにも、評価の目をもっていきたいと思いました。
- ・ 学部では学んできていない実践の場を想定した行動を頭で考え、文章にするということができて、学びたいのはこういうことだと強く思った。先輩教師の方(?)の意見も聞けて理論的ではあるけれど、知識として様々なことが知れてよかった。それと同時に学部でなぜこのようなことをやらないかということ不思議に思った。教職大学院改革ではなく学部改革をしていただきたいなど…。偉そうな事すみません…。
- ・ 子どもを支援・指導する上で大切なのは、いくつかある中でも経験値だと思っていました。しかし、二つの目の授業を受けて、こういう知識、二つの目があれば経験が乏しい中でも自分なりの指導の視点をもつことができるのではないかと思います。今日座学で習ったことが理論、またそれを実践することができそうだなと思いい理論と実践のつながりはこういうことかと思いました。うまく文章構成できておらず申し訳ありません。ありがとうございました。
- ・ 模擬授業でグループ学習を行い、多くの人の考え方に触れることができ、楽しく体験させていただきました。講義を聞いたり、コミュニケーションを取ることで、学びが深まることを体験することができいい刺激となりました。またFさんの実際に取った指導法、C君のその後の変化についても知ることができてよかったです。学ぶことが多く、感動する授業でした。ありがとうございました。
- ・ 子どもを見るためには「評価の目」という指導すべき点を見極める目と「共感の目」という子どもの気持ちを理解する目が必要だと学んだ。子どもに対してほとんど無意識に視点を向けて考えていたが、2つの視点に分かれていたことを、そしてそのバランスが大切だと学ぶことができた。C男の言語能力に対する視点が欠けていたのでもっと広く視点を広げたり、知識を深めていきたい。

◆ 入試説明会の感想などをご自由にお書き下さい。

- ・ 受験やカリキュラムについてよく分かりました。HPだけでは十分に理解しきれなかったところが分かり、大変助かりました。ありがとうございました。
- ・ 昨年度に引き続き今年度も参加させていただきました。昨年度とは異なった授業を受け、また新たな学びがありました。実際の校舎で先生方に授業やガイダンスをしていただき意欲がより高まりました。お忙しい中ありがとうございました。
- ・ 教職大学院について知ることができて、教職大学院で学びたいという意欲が強くなりました。
- ・ 自分の教師像を持ち、そうなれるようなサポートをしていただけるようなイメージを持てた。
  
- ・ 愛知教育大学の教職大学院について、少し不明だったことや、実際に大学院に入学してから一体どのようなことを学ぶか、また卒業生の方のお話や学校サポーターの実際やることを聞くことができ、大変ありがたいです。また不明な点を見つけたら、ご連絡させていただきます。本日はありがとうございました。
- ・ 入試についての詳細や大学院でどのようなことを学ぶことができるかということを知ることができました。ありがとうございました。
- ・ 図もあり分かりやすかったです。お金の事についての説明もあると尚嬉しいです(2又は3年での総額など)。来年から色々制度が変わるのがとても心配です。今の教職大学院の形に魅力を感じたのでこのような形を続けて下さると嬉しいです。本日はありがとうございました。
- ・ 長時間お時間いただき、とてもわかりやすく親身にまた楽しい説明会をありがとうございました。中山先生、松井先生のご説明はとてもわかりやすく、また私的的外れな回答もあたたかくひろいあげてくださって私もそんなふうになりたいなあと思いました。実習、教採、ふだんの授業など引き続き頑張ります。
- ・ パンフレットを読んで、疑問に思ったことを質問の時間に全て答えて頂き、疑問を解決することができました。教職大学院に受かれるよう、もっと勉強を頑張ろうと思いました。ありがとうございました。
- ・ 愛知教育大学の大学院、教育実践研究科の特色が良く分かった。実習を多く取り入れ、実践的な内容を学ぶことができることが良く分かった。